

第29回萩原公民館まつりを終えて



報告者：萩原公民館 成人学習部長 廣瀬 守
天候に恵まれ、約800人の来場者があり、賑やかなまつりになりました。定期利用団体や町内の小中学校の児童・生徒の皆さん、地域の方々による作品展示やステージ発表など、さまざまな催しを開くことができました。芸能発表ではステージと観客が一体になって歌ったり体操をしたりする姿が見られました。また、一宮萩原太鼓や萩原中学校ギターマンドリンクラブの演奏にも熱心に耳を傾けて

みえました。今回初めて行った「レコード鑑賞会」では、流れる昭和歌謡やフォークソングなどを口ずさんだり、青春時代を思い出しながら語りあう姿もありました。おはぎ、大福、鬼まんじゅう、惣菜パンなどを販売したバザーでは開始前から長い列ができ、30分ほどで完売しました。来場いただきました皆様、まつりの運営に携わっていただきましたスタッフ、関係者の皆様のお力添えに厚くお礼申し上げます。



第33回「萩原町民歩け歩け大会」を終えて

令和6年12月1日(日)は天候にも恵まれ、33回目となる「萩原町民歩け歩け大会」を開催することができました。

今年度は、97名の方々に参加いただきました。開会式後に準備体操を行い、4班に分かれて萩原公民館を出発しました。途中、市川房枝生家跡記念広場西側を通り、江緑地公園を休憩所として水分補給をしていただき、築込ホテル園に立ち寄るコース全行程約5.9kmを歩いていただきました。築込ホテル園では、萬葉公園ほたるの会



会長以下2名の方からホテルの飼育活動等について説明をしていただきました。老若男女を問わず、皆さん完歩していただきました。参加者の皆様、お手伝いしていただいた関係者の皆様ありがとうございました。来年度も多くの方々に参加いただけることを願っています。



次号は5月1日号(予定)です。

まちづくりに関するご意見をおまちしております。 <https://138hagiwara.org/>

萩原町連区地域づくり協議会だより



みんなで考え、知恵を出し、参加する、新しいまちづくり

発行日：令和7年3月1日

発行者：萩原町連区地域づくり協議会 一宮市萩原町萩原字河原崎79(萩原公民館内)

第100号



ホームページ
QRコード

萩原の夢と希望の花火大会

報告者：萩原町連区交通協議会 会長 平野吉廣

昨年12月7日(土)夜、地元での、萩原の夢と希望の花火大会が盛大に開催できたことに心よりお礼申し上げます。

当日は天候にも恵まれ、多くの皆様にきれいな花火をお楽しみいただけたことと思います。

開催にあたり、花火打ち上げ場所の田んぼを打ち上げ場所として提供して下さいました地主様、花火大会に多大なる協賛を頂いた企業、個人の皆様、そして大会が安全に開催できるようにご協力下さいました沢山の地元ボランティアの皆様をはじめご協力を頂いた方々に深く感謝申し上げます。

地域が一つになって成し遂げた花火大会は、多くの方に喜んでいただき、萩原のよき歴史の一コマとして皆様の心の中に残ったことと思います。

今後とも、地域の発展を思い、地域の皆様とともに歩んでいきたいと願っております。



町民運動会を終えて

報告者：萩原公民館 体育レクリエーション部長 高田研二

昨年10月27日(日)、萩原中学校運動場で萩原町民運動会が半日開催されました。例年、開催時期は9月中旬頃でしたが熱中症対策のため10月下旬に変更しました。各町内会の行事と重なり皆様方にはご迷惑をおかけしました。運動会当日は好天に恵まれ多くの方々にご参加いただき新しい競技も増え笑顔溢れる素晴らしい運動会になりました。



開催にあたり中学生ボランティアの皆さん、早朝より交通整理を担当された児童育成協議会の役員さんの皆さん、前日より会場設営を担当された各地区の公民館推進委員の皆さん、各町内会でテント張りから撤収までそれぞれの町内会のために活躍された役員さんの皆さん、中学生のボランティア活動を指導された先生、公民館役員全ての方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



協議会だより100号の足跡

報告者：前広報公聴部会長 早川一三

100号発行おめでとうございます。本来であれば関係された全ての皆様からお言葉を頂戴しなければならないのですが、私が感謝の気持ちを含めて代表して記事を書けとの、大変名誉なご指名をいただきましたので、私なりに過去の協議会だよりを遡ってみたいと思います。

創刊号(平成22(2010年)年7月1日発行)写真①参照

記念する第1号(創刊号)です。記事の内容は一宮市が連区制をもとに新しい地域社会へと発展させる組織「地域づくり協議会」を立ち上げることが掲載されています。

第2号(平成22(2010年)年10月1日発行)写真②参照

萩原町連区 地域づくり協議会準備委員会だより 第2号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会準備委員会 編集：2010-09-09

委員会だより開催イベント
谷一夫市長の協議会設立の意義と地域づくりの重要性をテーマとした講演会を開催しました。当日は多くの市民が参加し、協議会設立の意義や地域づくりの重要性について、谷一夫市長の講演が好評でした。また、協議会設立の意義や地域づくりの重要性について、谷一夫市長の講演が好評でした。

昨年12月15日にご逝去された谷一夫前市長が平成22年8月25日に旧看護学校講堂(今は取り壊されております)にお越しになられ「地域づくり」設立について基調講演をされたことが掲載されています。前市長の並々ならぬ「地域づくり」についての思いが掲載されていて、胸が熱くなります。谷一夫様のご冥福を心よりお祈りします。

第4号(平成23(2011年)年1月1日発行)写真③参照

萩原町連区 地域づくり協議会だより 第4号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会 編集：2011-01-01

皆さんが最後のまじりごははまじりご

第4号の則竹初代会長のご挨拶の文中から、いよいよ「萩原町連区地域づくり協議会」が船出する熱い決意表明が読みとれます。

第5号は部会も組織されていよいよ本格的スタートを切ったことがわかります。因みに協議会だよりはこれから永い間毎月発行で、文章打ち込みや版下づくり及び紙面の印刷・町内別仕分けは今と違って基本的に広報公聴部会員のメンバーが分担して行いました。

萩原町連区 地域づくり協議会準備委員会だより 新刊号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会準備委員会 編集：2010-09-09

萩原町連区に新しい地域づくり協議会が誕生しました

「地域づくり協議会」とは、一宮市が、これらの地域社会のあり方を再見直し、新たな地域社会へと発展させる組織、組織です。

「萩原町連区地域づくり協議会準備委員会」は、協議会設立に向けた取り組みを進めるために、これらの萩原町連区地域づくり協議会を準備・保持するための組織です。

なお、この「萩原町連区地域づくり協議会準備委員会」の構成メンバーは、以下のとおりです。

委員長	新 野 洋	萩原町連区地域づくり協議会委員長	平成21年度委員長
委員	山 口 三太郎	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成22年度委員長
委員	伊 藤 弘徳	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成23年度委員長
委員	伊 藤 浩次	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成24年度委員長
委員	山 口 三太郎	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成25年度委員長
委員	伊 藤 浩次	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成26年度委員長
委員	山 口 三太郎	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成27年度委員長
委員	伊 藤 浩次	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	平成28年度委員長

一宮市長 菅 野 洋 報告
萩原町エリアミーティングを開催

★日 時 平成22年8月25日(水) 午後7時～9時
★場 所 旧看護学校 講堂

萩原町連区 地域づくり協議会だより 第5号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会 編集：2011-01-01

迎春 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

本年も萩原町連区地域づくり協議会が、地域の発展と、市民の生活の向上に貢献できるよう努めます。皆様のご協力をお願いいたします。

2010年(平成22年)は、萩原町連区地域づくり協議会が誕生した年です。

12月14日(日)に開催された第1回総会において、「萩原町連区地域づくり協議会」が正式に発足しました。この協議会は、地域の発展と、市民の生活の向上に貢献できるよう努めます。皆様のご協力をお願いいたします。

2010年度(平成22年度)の活動報告は、協議会だよりに掲載されています。皆様のご協力をお願いいたします。

2011年度(平成23年度)の活動報告は、協議会だよりに掲載されています。皆様のご協力をお願いいたします。

第7号(平成23(2011年)年5月1日発行)写真⑤参照

2011年3月11日に発生した東日本大震災後の最初の協議会だよりです。レギュラーの記事を掲載せずに災害の備え等について載せています。如何に甚大な災害であったのかよくわかります。また通信手段はLINEではなくメールであったことからまだこの当時スマホではなくガラケーだったことがこの文中を読んでわかりました。

第66号(平成28(2016年)年5月1日発行)写真⑥参照

この第66号から協議会だよりは大きく様変わりをしました。先ず読み易くそして写真も見やすくするためにカラー化しました。また広報公聴部会の方々の負担を少なくするために文字入力・印刷作業等を外部委託として、発行も毎月発行ではなく概ね年4回発行として現在に至っております。

第78号(令和元年5月1日(2019年)年5月1日発行)写真⑦⑧参照

令和になって初めての協議会だよりです。裏面を読みますと新築された萩原公民館の竣工記念式典と内覧会の様子も垣間見ることができます。

最後に…

今回ご紹介させていただきましたのは、ごく一部です。当協議会のホームページの他、一宮市役所のみちづくり協議会のウェブサイトにも全てのバックナンバーが掲載されています。是非ご覧いただき思い出していただければ幸いです。

ところで200号を発行するとしたら何年後でしょうか?このままいくと西暦2050年(令和32年)になると思います。昨年12月4日の中日新聞の社会面に本年3月31日をもって無料求人情報誌タウンワーク(1998年11月創刊)を休刊するとありました。発行元のリクルートは今後の情報提供はウェブサイトやアプリなどを通じて行うと併せて掲載されておりました。

萩原町連区地域づくり協議会は、令和4年(2022年)12月にHPを開設しております。果たして25年後はどんな形態での200号になっているのでしょうか?

今回この原稿作成にあたり過去の協議会だよりを読んでみると、元氣な一宮市にするために各連区で地域づくり協議会設立を願う谷前一宮市長と萩原町連区でそれをいち早く設立にご尽力された則竹初代萩原町地域づくり協議会会長のご功績が読みとれました。時代が変わって情報発信手段が進歩しても「協議会だより」がよりよいまちづくりの橋渡しとして益々活用され発展されることを願わずにはいられません。結びとしまして、私事で恐縮でございますが以前「協議会だより」の発行におきまして数年に亘りまして責任者として重責を担わせていただきました。この場をお借りして関係者の方々には深く御礼を申し上げます。

萩原町連区地域づくり協議会だより 第5号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会 編集：2010-09-09

地震がおきた時、迷わないために。

地震発生時の対応方法について、市民の安全確保のために、協議会だよりに掲載されています。

萩原町連区地域づくり協議会だより 第6号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会 編集：2010-10-01

平成27年度 萩原町連区地域づくり協議会定期総会が開催されました

平成27年度(平成27年)の活動報告は、協議会だよりに掲載されています。

萩原町連区地域づくり協議会だより 第7号

創刊号(平成22年7月1日)発行 報告者：萩原町連区地域づくり協議会 編集：2010-10-01

平成30年度 萩原町連区地域づくり協議会定期総会 開催される

平成30年度(平成30年)の活動報告は、協議会だよりに掲載されています。

役員挨拶 萩原町連区地域づくり協議会 会長 菅 野 洋

2019年度(令和元年)の活動報告は、協議会だよりに掲載されています。

委員長	菅 野 洋	萩原町連区地域づくり協議会委員長	令和元年(2019年)委員長
委員	山 口 三太郎	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長
委員	伊 藤 弘徳	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長
委員	伊 藤 浩次	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長
委員	山 口 三太郎	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長
委員	伊 藤 浩次	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長
委員	山 口 三太郎	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長
委員	伊 藤 浩次	萩原町連区地域づくり協議会副委員長	令和元年(2019年)副委員長

2019年度(令和元年)の活動報告は、協議会だよりに掲載されています。